

コストシミュレーションツールを開発して都民が納得感をもって "燃費のいい家"を選べるようにしたい！

課題



- 2050ゼロエミッション東京の実現に向けて、新築住宅における脱炭素化（太陽光パネルの設置や高断熱化≒"燃費のいい家"）を推進している。
- "燃費のいい家"は、通常の住宅と比較して初期投資が高くなるため、購入等を断念する方も想定される。
- 一方で、住み始めてからの光熱費削減効果等、トータルコストで捉えると、投資回収可能であるケースがほとんどである。
- 購入前に具体的なトータルコストを把握することのできるツールを提供することで、"燃費のいい家"の購入等を後押ししたい。

背景

- "燃費のいい家"の購入等に当たっては、検討材料として、補助制度/導入・維持コスト/光熱費削減効果等の「費用感へのニーズ」が高いことが分かっている。
- 現在、特設サイトや動画等で情報発信を行っているが、一般論での金額提示に留まっており、都民が個々の条件や具体的な環境性能値に基づいて判断するには不十分だと推測される。（参考：<https://www.tokyo-co2down.jp/eco-home/>）
- 個人条件（家族構成・延床面積・地域等）や、住宅条件（設備仕様・断熱等級・PV搭載量等）等に応じた光熱費削減効果や補助金額等を把握することにより、初期投資との比較を可能とすることが有効である。

現場からの コメント



- 住宅メーカーは多種多様であり、建築コスト（初期投資増加分）の詳細分析は困難だと想定されるため、大まかな目安を示すことができればよいと考えています。
- 一方で、個人条件や住宅条件に応じた光熱費削減効果や補助金、税制優遇等の削減効果に関しては、詳細に把握することで、初期投資増加分の許容範囲を検討できるようにしたいです。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

環境局気候変動対策部
（環境都市づくり課）

太陽光パネルや高い断熱性能を備えた
新築住宅の普及を通じて、家庭部門の
CO₂削減に取り組んでいる